

地域の健康を支える

公益財団法人
加古川総合保健センター



2024
3月号
Vol.38

ホームページが新しくなりました!



バーチャル空間で保健センターを体験!

今回のリニューアルでサイト内に新たに館内の3D-VRを導入しました。
専用のゴーグルを使わず、ご自身のスマホやパソコンの画面を通して、館内を散歩するように巡ることができます。健診時のイメージづくりにぜひご活用ください!



こちらから体験できます



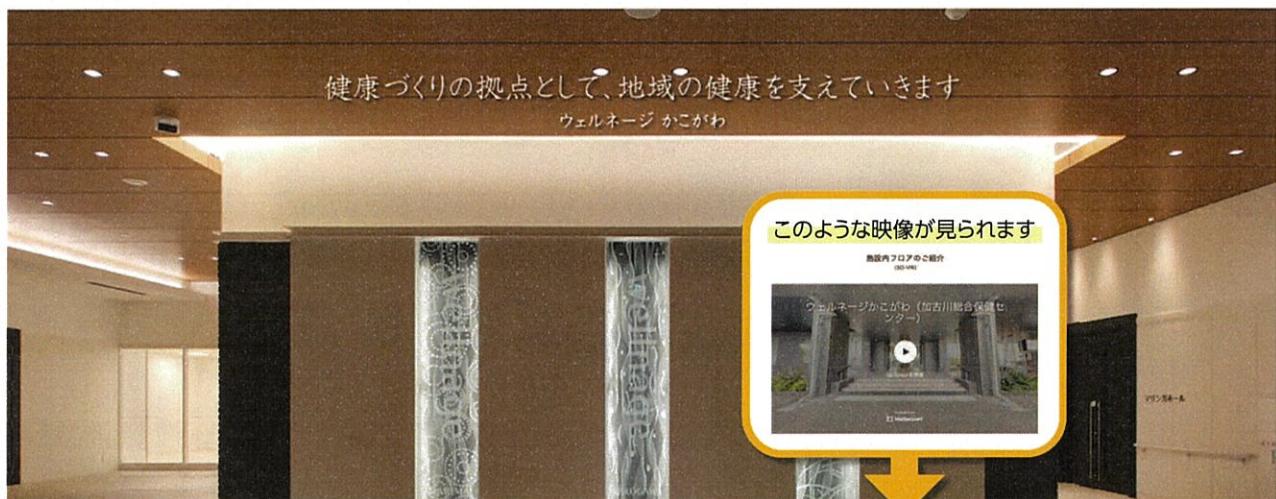
公益財団法人加古川総合保健センター

一口×

KD 公益財団法人
加古川総合保健センター

採用情報 財団概要 お問い合わせ

TOPページ 施設案内・交通アクセス 人間ドック 健康診断・がん検診 保健指導・健康相談 臨床検査について



予約がよりスムーズに!

各種健診や人間ドックのメニューがより見やすくなり、ご自身に合ったメニューをよりスムーズに予約できるようになりました!



特定健診・がん検診



人間ドック



リクルート動画を作りました

フレッシュな若手職員が保健センターの仕事や魅力を紹介しています!

動画内では、日頃にすることのできない部屋も登場しますので、ぜひご覧ください!

加古川総合保健センターで一緒に働く仲間を募集中です。



検査課だより ~へるす Ver ~



花粉・食物アレルギー症候群って?

~果物や野菜を食べると、口の中がかゆくなることはありませんか?~

特定の野菜や果物を摂取した直後に、口の中がかゆくなったり、のどがイガイガして腫れたり、息苦しくなったりするなどの症状が現れることがあります。

これは「花粉・食物アレルギー症候群(PFAS:pollen-food allergy syndrome)」と呼ばれ、花粉症の症状を持つ人が、特定の食物を食べたときに引き起こす反応です。症状が現れるのは、構造が似ているアレルギーの原因物質が食物の中に存在するからだとされています。

例えば、スギ花粉のアレルギーを持っている人がスギ花粉の飛散時期(1月~6月)にトマトを食べると、トマトのアレルギーの原因物質と反応して口の中がかゆくなったりすることがあります。この反応を「交差反応」といいます。

一般的に「花粉・食物アレルギー症候群」は、加工品では症状が出にくく、生の食物を食べたときに症状がおこりやすいとされています。しかし、豆乳では全身性の症状も少なくないので注意が必要です。

心当たりのある方は、かかりつけ医またはお近くの医療機関へ受診しましょう。



花粉・食物アレルギー症候群のイメージ



花粉と関連性のある食物の例

飛散時期	花 粉	花粉と関連性のある食物の一例
春	1~6月 ハンノキ シラカンバ	リンゴ モモ 大豆(豆乳)など
	2~5月 スギ ヒノキ	トマト
夏	4~10月 オオアワガエリ カモガヤ	メロン スイカ キウイなど
	秋 ヨモギ	セロリ・ニンジンなど
	ブタクサ	メロン・スイカなど

マンモグラフィ装置が新しくなりました!

新しい装置に入れ替え、石灰化や腫瘍などの病変がよりわかりやすい画像で撮影することができます。

乳がん検診の受診お待ちしています



Instagram
Follow me

更新中!



施設紹介や健康情報をお届けします

編集・発行



公益財団法人
加古川総合保健センター

〒675-0065 加古川市加古川町篠原町103-3
TEL.079-421-8181 FAX.079-429-6300
<https://wellnage.kakogawa.or.jp/>



WEBサイトはこちら